



安沼用水の里ウォーク

2022.04.10 10km

コースの概要

富士宮駅南口で体操をしてウォークスタート。野中橋を渡った後潤井川沿いの遊歩道を歩き、県道25（富士宮芝川線）に出たら左折して大泉寺の墓地を過ぎたところで左側の上り坂に進みます。フィルムパーク野球場をぐるっと回って安居山の住宅地をジグザクと歩き、安居山2区区民館でトイレ休憩です。休憩後は里道を進み、急階段を避けてくねくねと曲がった林の中の道を下ると、安沼用水の水路にぶつかります。左折してしばらく行くと左に大きな水神碑があります。その後は元来た道に戻り、水路沿いを進んで再び県道25に出て東漸寺でトイレ休憩です。東漸寺の少し先の右手に見える竹林が別所稻荷塚古墳です。その後は細い里道歩いて安沼用水隧道出口、郡石を見て身延線の別所踏切を渡り、よしま池を経由してゴールの富士山せせらぎ広場に向かいます。

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

行事参加中のコロナ対策

- ・マスクを着用し、密にならないよう間隔をあけて歩いてください。
- ・補食、お菓子等は自分用のみとし、他人にはあげないでください。
- ・大声での会話は控えてください

緊急時連絡

増田敏幸 080-2612-4825

篠原秋利 090-7919-4137

安沼用水水神碑

高さ約8m、幅約7mの巨大な自然石に「水神」と記されている。明治43年(1910)に安居山・沼久保地区の住民が作った水神碑で、碑面には安沼用水開削工事について記されている

別所稻荷塚古墳

6～7世紀に造られたと推定される別所古墳群の一つで、基底の直径16～17mと想定される円墳である。別所稻荷塚古墳のすぐ北側には、明治時代に太刀や鉄製品などが多数発掘された別所一号墳(別所古墳)蹟の石碑がある。

安沼用水

安沼用水は、安居山・沼久保を潤す用水で、芝川の水を西山から安居山まで隧道を掘って引き入れている。この用水は嘉永年間(1848～1854)に、領主旗本・駒木根氏によって計画されたが、安政の大地震(1854)のため遺棄されたと言われる。その後、明治3年(1870)に静岡藩士・門田退蔵と山川伊十郎によって事業が再起されたが、資金不足で再び中止されてしまった。明治25年(1892)にいたって、安居山・沼久保・大中里の有志が起工し、明治28年(1895)に、全長1550mの隧道が貫通した。しかし、工事支払いのめどが立たず、隧道の権利(水利権)を小野金六に譲り、耕作地1反歩あたり年額2斗5升の米を支払うことになった。その後水利権は現東京電力に譲渡され、昭和21年に地元で買取り、米の支払いは解消した。

郡石(こおりいし)

江戸時代の書物に、富士郡の形をした大石があると記されている。また、富士の巻狩のおり、源頼朝がこの石に腰かけて流鏝馬を見物したと言われ、「腰掛石」とも呼ばれている

コースウォーク

富士宮駅(WC・体操)	安居山2区区民館(WC)	安沼用水水神碑	東漸寺(WC)
8:00～20	9:20～35	10:05～15	10:45～11:00
安沼用水隧道出口	郡石	よしま池	富士山せせらぎ広場(ゴール)
11:15～20	11:25	11:40	12:00

